

# 会長メッセージ

## 安全安心を支える 社会インフラの一翼を担い、 社会の持続的な発展に貢献します。

村井 温

代表取締役会長  
最高経営責任者 (CEO)



### ■ 新たなビジネスチャンスへの挑戦

ALSOKグループを取り巻く市場環境は、景気の緩やかな回復により企業の設備投資も進み、警備業界にとって良い傾向で推移しましたが、米国トランプ政権の経済政策やイギリスのEU離脱問題など、海外では保護主義の台頭が懸念され、わが国経済への影響も予断を許しません。また、治安という面では、刑法犯認知件数が大幅な減少傾向にあるものの、子ども・高齢者・障がい者等を狙った犯罪から企業に向けたサイバー攻撃や世界を震撼させる国際テロなど、さまざまな犯罪がメディアを騒がせ、体感治安の改善は感じられない状況にあります。さらには、自然災害やインフラの老朽化による事故増加など、社会を取り巻くリスクは年々多様化しています。

こうした状況を背景に、社会の安全安心を支える警備サービスへのニーズは高まり続け、今や社会構造の一つとして組み入れられるまでになりました。また、少子高齢化に伴う人手不足を背景に、警備会社へのアウトソースニーズも多様化しています。ALSOKは、「お客様が抱えるさまざまなリスクやアウトソースニーズに的確に応える」との方針のもと、従来の警備業の枠を超え、グループ資源を最大限に活用することで、あらゆるビジネスチャンスを拡大し続け、持続的な社会の発展に貢献していきます。

### ■ ALSOKグループが目指す姿 (Eyes Toward the Future)

ALSOKは、『「ありがとうの心」と「武士の精神」をもって社業を推進し、お客様と社会の安全・安心の確保のために最善を尽くす』という経営理念のもと、誠実で真面目な社員を育て事業を拡大してきました。今後も警備業を中核に、これまで培ったインフラとノウハウを活かし、シナジー効果の見込める介護事業や総合管理・防災事業など、支柱となる新事業・新サービスへの取り組みを推進するとともに、日本経済の動向を見据えつつ、海外におけるビジネスも積極的に拡大していきます。

また、日本においては、今後さらに少子高齢化が進み、人手不足や市場の縮小といった社会問題の深刻化が懸念されています。そのような状況下においても、ALSOKグループは、AIやIoT、ロボットなどの新技術を活用して、犯罪の未然防止・予兆探知などの新たなセキュリティスタイルの提供や最適な人員配置などの効率的なマネジメントを実現していくことで、警備品質の向上を図り続けていきます。

このような取り組みにより、ALSOKグループは、グループ売上規模1兆円、経常利益1,000億円を目標に掲げて事業を推進していますが、いつの時代も「安全安心を支える社会インフラの一翼を担う」という基本的なスタンスは変えることなく、普遍的

経営理念をもって社会の発展に貢献していきます。日本には創業200年を超える企業が3,000社以上あるといいますが、ALSOKもいつかはその光栄に浴することを目指し、浮利を求めず地道な事業経営に邁進していきます。

### ■ 信頼できる経営体制と職場環境

労働集約型の警備事業にとって少子高齢化と人手不足の問題はとりわけ重大な課題です。たとえ人手が不足しても社員の質を下げることはできません。また、優秀な人材を育てても定着しなければ企業としての存続は望めません。会社が社会に認められ持続的に発展するためには、社員が仕事にやりがいを感じ、活躍し続けることが必要です。そのためには、経営陣の正しい考え方や経営姿勢はもちろんのこと、公明正大で風通しが良い会社でなければなりません。ALSOKグループは、内部通報制度「ALSOKホットライン」を設置し、社員が不利益を受けることなく、違法行為、不正行為を通報できる制度を設けてガバナ

ンスの醸成を図っています。さらには、コンプライアンス運動を展開し、法令遵守に対する全社員の意識向上にも努めています。

また、仕事と家庭を両立し、健全で働きやすい環境を社員に提供することが企業の努めであると考え、法定水準を上回る育児・介護制度や人間ドックの一部を含む定期健診、相談窓口「ALSOKサポートライン」など多様な制度を整備し、社員の生活と心身の健康を守っています。警備業は、女性社員が働きにくい職場と思われがちですが、ALSOKは、時短制度や育児休職制度等、ライフステージに合わせた環境づくりに取り組み、女性の活躍を支援しています。

### ■ ALSOKグループの「人財」と「強み」

ALSOKグループは、24時間365日対応できる体制を整え、お客様に満足していただけるサービスの提供に努めていますが、それを支える信頼と高い能力を備えた3万6,000人を超える社員こそが、ALSOKの「人財」であり「強み」です。セキュリティ事業に関わる者は、専門的な知識や高い技術の習得はもとより、人の生命、身体および財産を守ることに価値を認め、業務を規律正しく遂行し、お客様から信頼されなければなりません。そのために、新入社員向けだけでなく職位別にも多くの研修を実施していますが、いずれの研修においても創業以来の基本的な精神の理解・浸透を図り、その精神があらゆる場面で実践される

よう研修体系を構築しています。実際、こうした取り組みによって醸成されたALSOKの社風は極めて誠実かつ律儀なものとなっており、世に誇れる「強み」と考えています。

また、ALSOKは東京2020オリンピック・パラリンピック競技大会のオフィシャルパートナーとなったことから、語学力や文化的知識だけでなく、マナー面においてもグローバルマーケットを視野に入れた教育を行っています。今後も、社会の安全安心を支えていく優秀な「人財」の育成と活躍できる環境を整え、ステークホルダーの期待に応え続けながら社会の持続的な発展に貢献していきます。

#### 経営理念

我が社は、「ありがとうの心」と「武士の精神」をもって社業を推進し、お客様と社会の安全・安心の確保のために最善を尽くす。

#### 経営指針

##### 1 経営の基本精神

何事にも、常に感謝の心を忘れない「ありがとうの心」と、強く、正しく、温かい、「武士の精神」をもって取り組みむとともに、社徳のある会社を確立する。

##### 2 経営の優先順位

お客様に対して最高のサービス・商品を提供することを最優先とし、併せて社員にとって働きがいのある会社の実現に努めるとともに、収益の拡大を通じて株主の期待に応える。

##### 3 経営の基本戦略

常に変化する時代のニーズに合うべく、警備業を中核としつつ、新たな分野におけるサービス・商品を幅広く提供する。

##### 4 社会・公共への貢献

安全・安心に関する公の施策に協力し、社会の発展に貢献するサービスの展開と商品の開発を行う。